

厚生労働大臣メッセージ

今年で77回目を迎える赤い羽根共同募金運動が、本日から始まります。

この運動は、昭和22年に開始されて以来、国民の皆様の温かい助け合いの思いによって支えられ、我が国の地域福祉の発展に大きく寄与するとともに、災害時のボランティア活動の支援にも役立てられています。

現在、我が国では、少子高齢化や人口減少、単身世帯の増加といった社会構造の変化や、孤独・孤立といった新しい政策課題に直面しています。

これらの変化や課題に対し、身近な地域で包括的に対応できる体制を実現するため、厚生労働省では、地域住民が共に支え合い、地域、暮らし、生きがいを共に創っていく「地域共生社会」の実現に向けた取組を進めております。

日本の募金運動の草分けとして、寄附文化を育み、住民が相互に支え合う地域づくりの原動力となってきた赤い羽根共同募金運動が、今後も力強く展開され、支援を待つ多くの方々の支えとなることを心から願っています。

本年も、多くの皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

令和5年10月1日

厚生労働大臣

武見敬三